

令和8年度 宮城第一高等学校「志教育」年間指導計画(理数探究科)

3つの視点			かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす			
各教科指導目標	国語	○	○	○	地理歴史	○	○	○	公民	○	○	○	数学	○	○	○	理科	○	○	○
	保健体育	○	○	○	芸術	○	○	○	外国語	○	○	○	家庭	○	○	○	情報	○	○	○
	理数	○	○	○																
言語感覚を磨いてコミュニケーション能力を高めるとともに、思考力や創造力を伸ばし、総合的な言語能力を養う。			宮城県や東北を基点とし、日本及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深めることで、日本及び国際社会に主体的に貢献する社会人として必要な自覚と資質を養う。			現代社会の諸課題について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方や生き方についての自覚を育て、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。			事象を数学的に考察し、筋道をたてて考え、表現する能力を高め、判断力と問題解決能力を育てる。			自然科学に対する原理・法則を理解し、実験・観察をとおして探究心を高め、現代社会の基盤となっている科学技術の発展に対応できる資質を養う。								
心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育てる。			多様な表現の実践をとおして、自己を陶冶し、自他の感性を受容する資質や能力を養う。また、鑑賞をとおして日本や諸外国への文化的教養を深め、長く芸術を愛好する心情を育てる。			英語の学習をとおして、我が国や外国の生活や文化に対する関心を深め、多様なものの見方や考え方を理解させるとともに、自らの考えを英語で適切に表現できる能力を養う。			家庭生活の重要性への理解を深め、実践的・体験的な探究活動をとおして、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向け、主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を養う。			変化の早い情報社会を生きるために、これからの社会で必要とされる知識・技能を習得しながら、正しい情報を活用・発信できる思考力と判断力を育てる。								
探究活動や科目の授業をとおして、事象を多角的、複合的に捉え、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係等の科学的な視点から、比較したり関連付けたりする力を養う。																				
年次共通						かかわる	もどめる	はたす	各年次指導目標											
指導内容	①自主性の育成	○	◎	○	1年	①授業中心の学習遂行と意欲のかつ自律的な学習姿勢と身に付ける。 ②学校行事で責任ある参加等を通じ、中堅学年としての自覚を持つ。 ③志望学部や大学研究とオープンキャンパス等への積極的参加を通じ、進路希望を明確にする。														
	②自律性の涵養	○	◎	○		2年	①自己の能力適性の把握に努め、進路を決定する。 ②克服すべき諸課題に計画的に取り組み、進路目標の達成を図る。 ③最上級生としての自覚と諸活動において指導性を発揮する。													
	③学習時間の確保	○	◎	○	3年		①自己の能力適性の把握に努め、進路を決定する。 ②克服すべき諸課題に計画的に取り組み、進路目標の達成を図る。 ③最上級生としての自覚と諸活動において指導性を発揮する。													
	④マナーの向上	◎	○	○																
	⑤進路意識の高揚	◎	○	○																
指導内容						ねらい			指導教科等			実施時期	時数	かかわる	もどめる	はたす				
1年	基礎学力の定着度と学習力(学習習慣・学習方法等)について把握[スタディサポート]			1年次の学びに向けて、基礎学力の到達状況と学習状況の結果から、自己の学習改善につなげる。			特別活動			4月	4	○	○	○						
	オリエンテーション・国数英ガイダンス・進路講話			国数英における主体的な学習態度の育成と基礎学力の向上を図る。学校生活を有意義に過ごすため方法を学ぶ。			授業・特別活動			4月	4	○	○	○						
	探究活動(探究基礎)			探究活動における基礎的なスキルを学び、適切な課題設定や様々な分野への関心を高める。			総合的な探究の時間			通年	70	◎	◎	○						
	校内歌合戦の準備と発表			主体性や創造性、責任感を養い、コミュニケーション能力や情報共有能力を高めながら、協働的な精神を養う。			特別活動			6~7月	10	○	◎	◎						
	進路講演会			外部講師の話聞くことで、高い志を持たせるとともに、進路探究への意識付けを実現する。			特別活動			6月	3	○	○	○						
2年	基礎学力の定着度と学習力(学習習慣・学習方法等)について把握[スタディサポート]			2年次の学びに向けて、基礎学力の到達状況と学習状況の結果から、自己の学習改善につなげる。			特別活動			4月	4	○	○	○						
	探究活動(理数探究)			設定した課題について、グループで研究し、それを発表する経験から研究の意義を学ぶ。			理数探究			通年	70	○	◎	◎						
	校内歌合戦の準備と発表			主体性や創造性、責任感を養い、コミュニケーション能力や情報共有能力を高めながら、協働的な精神を養う。			特別活動			6~7月	10	○	◎	◎						
	進路講演会			外部講師の話聞くことで、高い志の実現に向けた志望大学探究への具体的な方路について学ぶ。			特別活動			10月	2	○	○	○						
	研修旅行(オーストラリア研修)			大学や企業等を訪問することで、見聞を広げ、将来の目標を得る。			特別活動			12月	40	◎	○	○						
3年	基礎学力の定着度と学習力(学習習慣・学習方法等)について把握[スタディサポート]			3年次の学びに向けて、基礎学力の到達状況と学習状況の結果から、自己の学習改善につなげる。			特別活動			4月	4	○	○	○						
	進路講演会			外部講師の話聞くことで、高い志の実現に向けた諦めない強い意志を確認する。			特別活動			5月	2	○	○	○						
	保護者向け進路プレゼンの準備			学問分野探究と志望大学探究の成果について、保護者に対して論理的に説明することで自己の志を再確認する。			総合的な探究の時間			7月	3	○	◎	◎						
	探究活動(探究発表)			探究を継続し、論文へまとめるとともに、自分のキャリアを見つめ直し、進路探究を行う。			学校設定科目「探究発表」			通年	70	○	◎	◎						
	校内歌合戦の準備と発表			主体性や創造性、責任感を養い、コミュニケーション能力や情報共有能力を高めながら、協働的な精神を養う。			特別活動			6~7月	10	○	◎	◎						
											合計時数	306								